

「農事組合法人 かなん」の取組

「道の駅かなん」農産物直売所

大阪府河南町の位置図



河南町の概要

- ・人口・・・16,777人(H19.12月現在)
- ・面積・・・25.26km²
- ・農業構造(単位:ha)

農家戸数	耕地面積	田	畑	樹園地	農業算出額	認定農業者
798戸	469	328	70	71	90千万円	55人

河南町の概要 2

主要農産物(単位:ha)

	水稻	なす	胡瓜	里芋	伝統野菜	みかん	いちじく
河南町	173	15	8	9	298a	25	6
(順位)							
大阪府	6310	119	69	53	859a	839	46

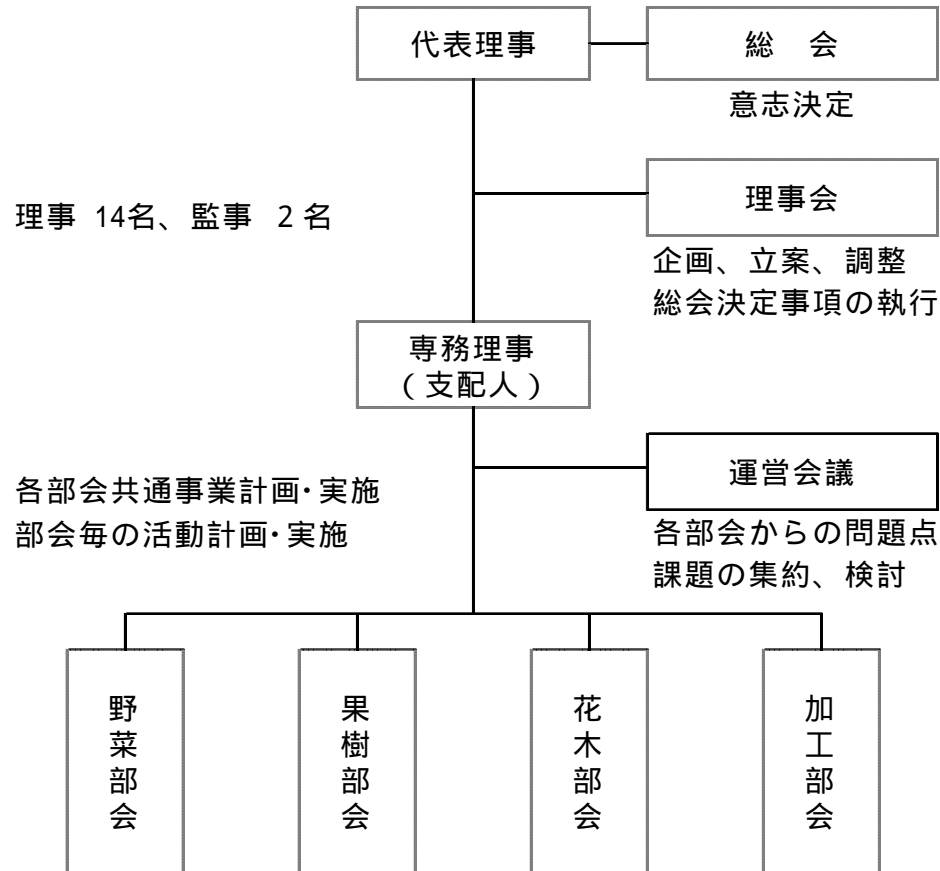
国の指定産地(南河内郡東部地区)

さといも品種「石川早生」は河南町原産

なにわの伝統野菜:認証制度に基づく認証面積(H19.9月現在)

農事組合法人 かなん 概要

農事組合法人 かなん 組織・構成図



農産物販売部門

基本原則

- 1．安全、安心、新鮮
- 2．生産者と消費者の交流の場の提供
- 3．朝収穫を基本とした農産物の出荷促進と品質の向上
- 4．少量多品目栽培の促進と施設栽培段撒きでの出荷時期の拡大

農産物加工部門

こだわり

1. 原材料を出来る限り地場産にこだわった製造、販売
2. 季節毎の郷土行事に合わせた商品の製造、販売
3. 加工部員が交替で販売所にて、お客様と接しニーズを把握する

農産物加工部門2

- ・お 餅: 地場産米を使用する為に組合員に作付けを依頼
(あかねこ餅、くるみ餅など)
- ・米粉パン: 地場産米を製粉した米粉を使用
トッピングにも旬の野菜を使用
- ・惣 菜: 野菜にこだわったお弁当の製造
(道の駅弁当、季節に合わせた炊き込みご飯)
- ・ジャム: 地場産の果実を使用(いちじく等)
- ・み そ: 地場産米と国産大豆を使用



特産品作りと消費者へのアピール なにわの伝統野菜

田辺大根



天王寺蕪



毛馬胡瓜 (右)
勝間南瓜 (左下)
玉造黒門越瓜 (左上)



特産品作りと消費者へのアピール

いちじくの振興



特産品作りと消費者へのアピール

農薬使用履歴の記帳

防除日誌

平成19年5月1日作成 農事組合法人 かんん

作目名 キャベツ	栽培圃場(場所)	生産者番号	店への申告事項	出荷予定日 ~ 終了予定日	品名	提出日
品種名(種苗会社)	栽培面積 (畝巾×長さ)	氏名		/ ~ /		/
作型	a m × m 播種日 定植日 収穫開始日 収穫終了日			/ ~ /		/

※ 農薬(除草剤を含む)を使用していない場合は、右欄に○印を記入してください。

農薬は使用していません

薬剤名	希釈倍数・使用量	使用日1	使用日2	使用日3	使用日4	使用日5	使用日6
アファーム乳剤	1000倍・	月 日	月 日	月 日	収穫7日前まで		
カッパーシン水和剤	1000倍・	月 日	月 日	月 日	月 日	収穫7日前まで	
ジェイエース粒剤	2g/株・	月 日	月 日	月 日	収穫21日前まで		
セイブアフロアブル20	1000倍・	月 日	月 日	月 日	収穫3日前まで		
スピノエース顆粒水和剤	2500倍・	月 日	月 日	月 日	収穫3日前まで		
ダコニール1000	1000倍・	月 日	月 日	収穫14日前まで			
トアロー水和剤CT	500倍・	月 日	月 日	月 日	月 日	収穫前日まで	
トレボン乳剤	1000倍・	月 日	月 日	月 日	収穫3日前まで		
ネビジン粉剤	30kg/10a・	月 日	月 日	は種又は定植前まで			
ベンレート水和剤	2000倍・	月 日	月 日	月 日	収穫7日前まで (使用回数6回以内)		
他薬剤名	希釈倍数・使用量	使用日1	使用日2	他薬剤名	希釈倍数・使用量	使用日1	使用日2
	・	月 日	月 日		・	月 日	月 日
	・	月 日	月 日		・	月 日	月 日
	・	月 日	月 日		・	月 日	月 日
	・	月 日	月 日		・	月 日	月 日

注意: ○本票に記載のない農薬を使用した場合は、空白の欄に記入(粒剤・水和剤・乳剤・フロアブル・ドライフロアブル等の剤型まで忘れず)にしてください。そのときは、希釈倍数や使用量に注意し、成分ごとの1作での総使用回数を超えないように注意してください。
○実際に使用した使用量・希釈倍数が、本票に記載の使用量・希釈倍率と異なる場合は、修正してください。

特産品作りと消費者へのアピール

大阪エコ農産物認証制度への取組み



特産品作りと消費者へのアピール

農産物の消費拡大



特産品作りと消費者へのアピール

地産地消の推進と地域農業の活性化

援農者との交流と新規就農者への取組み

特産品作りと消費者へのアピール

BDF (バイオディーゼル燃料) への取組み



特産品作りと消費者へのアピール

消費者との交流事業





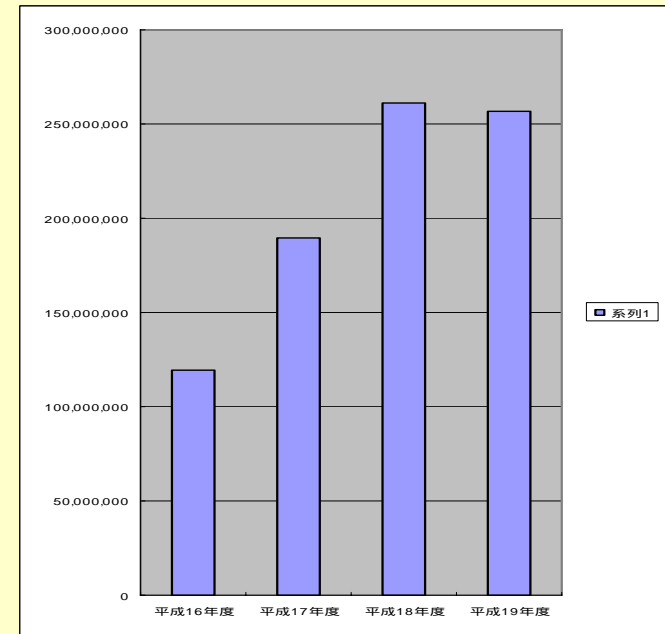
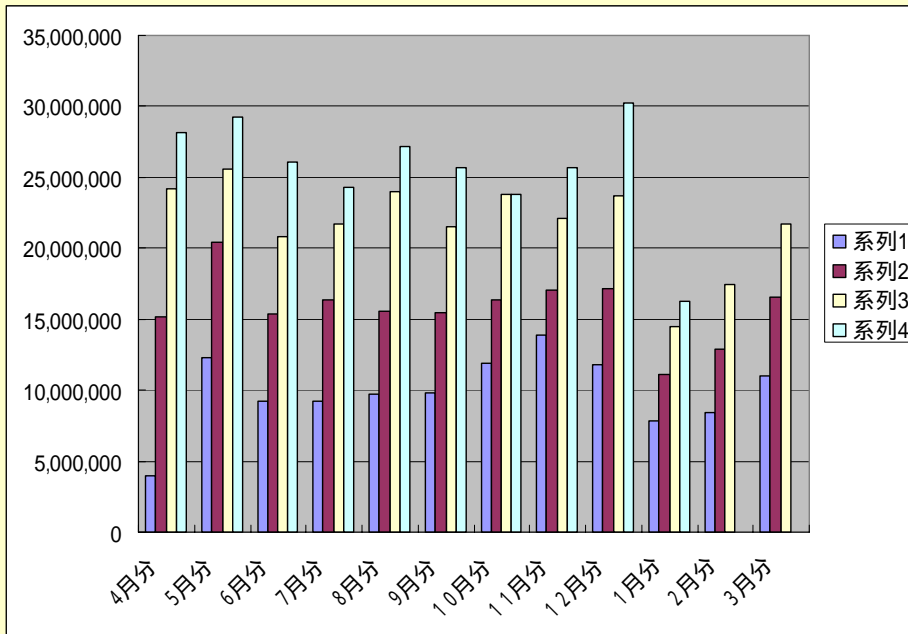
活動の成果

1. 家族間の協力関係
2. 消費者を意識した生産対応と出荷体制
3. 生産規模拡大(遊休農地の解消)
4. 生産者の活力の増大

活動の成果2

実績(H20.1月末現在)

	客数	対前年比	販売点数	対前年比	販売金額	対前年比	対16年比	
平成16年度	147,097		637,149		119,111,954			
平成17年度	208,320	141.6%	924,619	145.1%	189,534,814	159.1%	159.1%	
平成18年度	268,972	129.1%	1,297,261	140.3%	260,875,536	137.6%	219.0%	
平成19年度	256,782	112.2%	1,299,252	118.3%	256,500,696	115.7%		1月末現在
小計(累計)	881,171		4,158,281		826,023,000			



将来の抱負

1. 河南町産農産物にこだわり「生産者が自ら販売する」直売所
2. 基本コンセプト「食べておいしい、いいものを安く」
3. 自然循環農法の拡充 有機農業の推進
4. 消費者ニーズに合わせた商品の開発
5. イベントの開催 マンスリーイベントを目指して!!!
6. 消費者の農業への理解を高める
農作業体験や収穫祭の実施

ありがとうございました。

